

「2019年度 ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」
「名品部門」「交流コンテンツ部門」
それぞれ地方創生大賞を決定

－国内の10事業者・団体が集結し
地域に眠る名品、それを支えるストーリーを発掘する表彰制度－

<http://furusatomeihin.jp/>

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会(実行委員長:古田秘馬)は、地域の素晴らしさを域外の消費者に直接伝えようとする新たなチャレンジを、より多くの人に知ってもらうことを目的とした表彰制度「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」について、地方創生担当大臣賞となる「地方創生大賞」2名品(入賞10名品から2名品選定)を決定しました。

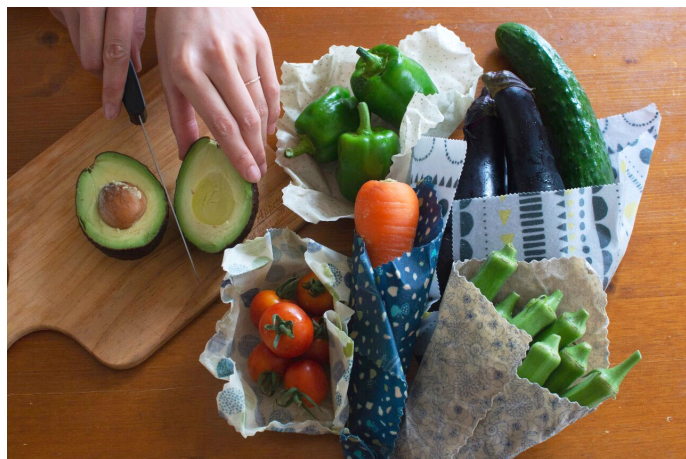
5年目となる今年度の最終審査会では、増田寛也さん(日本郵政株式会社代表執行役社長)、大西洋さん(株式会社羽田未来総合研究所代表取締役社長執行役員)、和田明日香さん(モデル・食育インストラクター)、古田秘馬実行委員長が出席し、審議致しました。

今年度の受賞品は下記となります。

【地方創生大賞・名品部門】

tsu tsu mi

宮城県伊具郡丸森町



「tsu tsu mi」は近年エコ先進国で広まりつつある、洗って繰り返し使える食品用ラップです。宮城県伊具郡丸森町の休眠資源「ミツロウ(蜂の巣からとれるワックス)」を使用した数少ない国産のミツロウラップであり、プラスチックゴミの削減に繋がるエコ商品です。

【地方創生大賞・交流コンテンツ部門部門】
斬新的発想で大混雑・白川郷イベントの地域課題を一掃
岐阜県大野郡白川村



白川郷ライトアップイベントは、人気イベントゆえに人口減少を抱える地域での負担が重く、例年悩みの種となっていました。そこで住民の悩みを解消し、来場者満足度を向上させる仕組みとして“完全予約制”を設計・導入し、地域住民の課題を一掃し、更に顧客体験も向上させた取組です。

地方創生賞入賞名品

【名品部門】

提案者名	ふるさと名品名	都道府県	市区町村
一般社団法人 宮古観光文化交流協会	瓶ドンプロジェクト (宮古の新しい体験型 ご当地グルメの開発)	岩手県	宮古市
株式会社ソアラサービス	EARTH Hiroshima 折り鶴再生紙グッズ	広島県	広島市
ジャムセットプレイス株式会社	総青森ひば間接照明	青森県	青森市
株式会社Rinnovation	さとうきびの搾りカス 「バガス」を活用した エシカルデニムプロジェクト	沖縄県	浦添市

【交流コンテンツ部門】

提案者名	ふるさと名品名	都道府県	市区町村
松浦市役所 地域経済活性化課	アジフライの聖地 松浦	長崎県	松浦市
田原本町役場	奈良田原本流鎚馬まつり	奈良県	田原本町
株式会社someru	西東京市の情報はこれ1つ！ タウン誌アプリ「フラリコ」！	東京都	西東京市
広田湾遊漁船組合	広田湾海中熟成プロジェクト。 ～海でお酒を沈める 海中熟成体験による地域活性～	岩手県	陸前高田市

■「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」について

地域の中には日本全体ひいては海外にも通用する潜在力の高い名品やストーリーがたくさん眠る一方、域外の消費者は、こうした未開拓の資源の存在をほとんど知る機会がなく、また、地域の側もそのポテンシャルをどう伝えればいいのか、戸惑いがあるのが現状です。

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会では、地域の素晴らしさを域外の消費者に直接伝えようとする新たな地域のチャレンジをさらに効果的に、より多くの人に知ってもらうべく、意思を同じくする民間企業が知恵と力を合わせて、地域に眠る名品と、その名品を支えるストーリーや取組を様々な角度から発掘してまいります。

<「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会>

実行委員長： 古田 秘馬

幹事社(4社)： 株式会社ジュピターテレコム(J:COM)、株式会社 JTB、株式会社テレビ東京コミュニケーションズ、株式会社ドウ・ハウス

会員企業・団体(6社)：

株式会社ア・ファクトリー、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社クレセント、株式会社さとふる、エコツツエリア協会、一般社団法人モテパパLAB

後援： 内閣府、農林水産省、経済産業省

【ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 2019 地方創生大賞、地方創生賞】

それぞれの名品や、名品をめぐる人材・取組が、どれだけ地方の変革に向けた機運を醸成し、その実現に成功したかという観点から選考・表彰する賞。「名品部門」「交流コンテンツ部門」の2つのカテゴリごとに地方創生賞を5つずつ用意し、それぞれのカテゴリの最高位を地方創生大賞とする。

応募条件：本年12月頃までに、地域の特徴を生かした最近3年を目安に新たに販売・発表された名品を対象とします。ただし、販売・発表から数年経てもまだまだ認知のないコト・モノであれば受賞可能と判断する予定です。

選考フロー：一次審査・二次審査・最終審査の三段階の審査を行います。

授賞内容：「名品部門」「交流コンテンツ部門」の2つのカテゴリごとに地方創生大賞2点と地方創生賞8点を授賞

【受賞者の権利】

- ① 受賞名品は、販促機会に「受賞ロゴ」を使用できます。
- ② 各事業者の特徴を生かした販促機会が(ECサイト無料掲載など)提供されます。(予定)

<報道関係の方のお問い合わせ先>
ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会事務局
大谷：070-1054-7835
佐竹：080-3706-8691
EMAIL: furusatomeihin@jtb.com
時間：月～金9:30-17:30(土日祝 休業)